

"ファクターX"をさかのぼる —京都と疫病—

古くから人々が密集し、外国との往来も盛んだった京都は、感染症がたびたび流行する宿命にありました。いま、世界は新型コロナウイルスの猛威の中にあります。日本も例外ではありません。けれども諸外国のような厳戒下ではなく、不思議な日常が続いています。背景には、日本人の素朴な信仰や暮らし方、考え方にも隠れた要因が潜んでいるのではないかと。容易に検証できない"ファクターX"を、各分野の専門家とともにさかのぼります。

基本講座10回

定員130名

期間

6/5 (土) ~ 3/19 (土)

時間

【午前コース】10:00~11:30 (受付9:30~)
【午後コース】12:30~14:00 (受付12:00~)
※各コースとも講座内容は同じです。

会場

キャンパスプラザ京都 (4階第2講義室)

日 程
変更版

(2021.9.25 変更)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、京都学講座の予定を変更いたしました。変更内容について、下表のとおりお知らせいたします。

第1回
6/5
(土)

神道の祓いを通じて

乾 光孝氏 (世界文化遺産 賀茂別雷神社 権禰宜)

第2回
6/26
(土)

祇園祭の創始と変遷

—疫病退散のまつりから巨大都市祭礼へ—

八木 透氏 (佛教大学 歴史学部 教授)

第3回
7/24
(土)

王朝の庶民生活と疫病 —京都のマチと人の暮らし—

井上 満郎氏 (京都市歴史資料館 館長、京都産業大学 名誉教授)

第4回
7/31
(土)

病を運に呼びこむ道長とその栄華

—同母兄の相つぐ死、三条帝の追い落とし、「望月の歌」—

龍谷 寿氏 (同志社女子大学 名誉教授、古代学協会 理事長)

第5回
10/2
(土)

国宝「病草紙」—平安絵巻の問題作—

井並 林太郎氏 (京都国立博物館 研究員)

第6回
10/16
(土)

学都京都の疱瘡(ほうそう)と医学

香西 豊子氏 (佛教大学 社会学部 教授)

第7回
10/30
(土)

中世室町時代の疫病 —13代將軍足利義輝を中心に—

葉山 美知子氏 (京都医学史研究会 会長)

第8回
2/19
(土)

ヨーロッパの中近世を襲った
驚異のパンデミック「黒死病」

石坂 尚武氏 (同志社大学 名誉教授)

第9回
2/26
(土)

京都の盆行事 祖霊とともに死霊を送る

村上 忠喜氏 (京都産業大学 文化学部 教授)

第10回
3/19
(土)

古代の疫病について考える—平城京・平安京の流行病—

澤田 瞳子氏 (小説家)

実地講座1
7/20
(火)

中止

御霊会と山鉾巡行—「鯉山」の宝物のなぞ—

杉田 繁治氏 (公益財団法人鯉山保存会 相談役)

実地講座2
12/4
(土)

神社境内から円山公園へ、「防疫」の聖地・祇園社の変容をたどる
—疫病と都市住民の関係は、場所をどのように変えたか—

梅林 秀行氏 (京都高低差協会 会長、京都ノートルダム女子大学 非常勤講師)

川島 智生氏 (京都華頂大学 現代家政学研究所 教授)